

探究の目的 Our Vision for the future

個性重視の現在、「学び」は個人と切り離せなくなりその目的は多様化しています。個の学びはもちろん重要ですが、岩高では「他者のための学び」も目的としています。個人の持つスキルを他者のために役立てる相互扶助の学びです。

These days, there has been more emphasis on individuals, with “learning” becoming more and more diverse. Of course, learning is important, but here in Ganko our aim is to “learn for the future of society”. It is a learning that involves us developing our personal skills with the help of other people.

1. 基礎学力に裏打ちされた思考力と判断力、そして表現力を養う。

To cultivate our ability to think, judge and express based on academic knowledge.

2. 社会で働く自分(岩高生)を想像し、その姿を実現するための探究心を育てる。

To imagine ourselves working in society, we will cultivate our pursuit of knowledge in order to realize our future.

3. 自身の研究・発表活動に対して適切な目標を設定し、その達成のために積極的に問題や課題に対する探究活動を行う姿勢を育てる。

We will foster a proactive approach to research activities and set appropriate goals towards them while actively address the problems and task to achieve said goals.

4. 研究・発表活動を行う中で、他者と協働したり、自分の知識を他者と共有したりする力を育てる。

We will develop our ability to collaborate and share our knowledge with other people during research and presentation activities.

2019年度
「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

- 1学年:探究心「10の力」
きく力第1回
- 2学年:学年集会
オリエンテーション

4月9日(火) 6限目

■ 祝!! 1年生テキスト「探究心」製本化が実現

PTA・同窓会をはじめとする多くの方にご協力いただき、1年生のテキストを製本化することが出来ました。また、2017年度から本テキストの作成にご尽力いただいたプロジェクトチームの先生方にも深く感謝申し上げます。これからも持続可能であり、かつ着地しない探究活動を生徒・職員ともに創り上げていきます。本年度の岩高も走り続けます。



■ 1年生 探究心「10の力」きく力(第1回)

入学式から5日。そして、初めての探究の時間。不安や緊張があるのは生徒だけではなく。1学年の先生方も同じなんです。そこで、2学年担任が各クラスで模範授業を行い、1学年の先生方のチューターとして活躍していただきました。和やかな雰囲気の中、いいスタートがきれたと思います。「聞く」「聴く」「訊く」に関するペアワークやグループワークを通して、『主体性』『多様性』『協働性』の意識付けができたのではないかと思います。

■ 2年生 オリエンテーション(学年集会)

昨年一年間探究活動を経験した先輩として、本年度はチューター制で後輩を導きます。問題/課題解決型研究ではSDGs(持続可能な開発目標)を選定し、各テーマに沿って1~2年合同のグループ活動を行い、最終的にはプレゼン資料やポスターの作製、そして論文執筆を行う予定です。

また、生徒と職員がタッグを組み、より魅力的で楽しい探究の時間を創り上げるためにGanko Thanq Project(通称GTP)を立ち上げ、メンバーを募集しました。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

- 1学年:探究心「10の力」
きく力第2回(他者紹介)
- 2学年:探究心「10の力」
きく力第2回(運営・評価)

4月16日(火) 6限目

■ 1～2学年同時開講の利点と可能性

本年度、「探究の時間」は火曜日6時間目に1～2学年同時開講で実施しています。今回はその利点を活かして、1年生の発表の場を2年生が司会とタイムキーパーとして運営しました。さらに2年生は1年生の発表を傍聴・評価することで、1年生への見本となる聴く姿勢を実践し、さらには今後の自身のプレゼンに活かすことも目的に据えました。学年横断、そして協働型の活動を通して、学年を越えた『相互扶助の学び』と、思いや経験を次世代に引き継ぐ『継続的な学び』を今後も展開していけると期待しています。

■ 1年生 探究心「10の力」きく力(第2回)(他者紹介発表)

先週作成した他者紹介文をもとに、一人あたり30秒でペアの紹介を行いました。先輩の前で発表するという緊張を強いられる…さらに新入生歓迎会から一週間しか経っていない…状況でも、物怖じすることなく堂々と、精一杯ペアの紹介を伝えようとする姿が印象的でした。後日、各会場(10会場)のベスト発表者それぞれに、THANQっばい?賞品が贈られました。

■ 2年生 探究心「10の力」きく力(発表会運営・傍聴・評価)

有志10名が司会とタイムキーパーを務めて、各発表会場の運営を行いました。それぞれが主体的に考え、そして動く姿は本当に頼もしいかぎりでした。評価者的な見方・立場ではなく、1年生が発表しやすい空気を一緒につくろうという先輩たちの心遣いも大いに感じられました。発表する後輩の姿に、一年前の自分を映し出し、懐かしさとともにチューターとして後輩を導く自覚や決意が芽生えたのではないのでしょうか。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1学年：授業参観・参加

Ⅱ 2学年：探究のコツ

「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson01. 人にわかりやすく伝えるコツ

4月23日（火）6限目

Ⅲ 外部企業との協働契約

本年度、2年生のテキストとして、神原洋子(2019)『一生使える探究のコツ：思考の手引き～整理・分析編～』(株)トモノカイを使用します。本教材では、探究活動で行き詰まりやすい「整理・分析」のパートに焦点があてられ、演習問題やワークを通じて、必要な思考の仕方を身につけることができます。また、2022年度からの大学共通テスト等、入試問題の変容に対応する力も養成できるのではないかと考えての採用です。さらに本年度、(株)トモノカイとは協働校として契約しました。外部からのメタ的な意見やアドバイス、最先端に行く教育関連機関から得られる情報等を岩高探究に活かす一方、本校での実践から得られた情報を協働先にフィードバックすることは、全国の高校への還元にもつながると考えています。

Ⅰ 1年生 授業参観・参加

1年生は2年生(5クラス)の授業を自由に参観しました。テキストのメモ欄や紙ベースのポートフォリオにメモを取る姿に感心しました。図形当てゲームでは、2年生のペアに交ざって先輩が説明した内容をもとに図形を描きました。遠慮や照れからか、ゲームに参加できない1年生も多く見られました。逆に困っている後輩に声をかけられなかった2年生の姿からも、「主体性」と「協働性」という、本校のこれからの課題が見えた貴重な時間でした。

Ⅱ 2年生 Lesson01. 人にわかりやすく伝えるコツ

論理的に考える力を磨くため、「説得力のある伝え方のコツ」をペアワークを通して学びました。与えられた図形をペアに分かりやすく説明するゲームでは、多くの生徒が説明や描画に苦戦していたようです。人にわかりやすく伝えるためのテクニックや技術はさることながら、本当に必要なのは、他者への配慮ではないかと感じました。本日学んだコツを日頃のコミュニケーションでも意識し、実践してほしいと願います。



2019年度
「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1学年:探究心「10の力」
かく力第1回

Ⅱ 2年生:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson02. 主張には根拠を

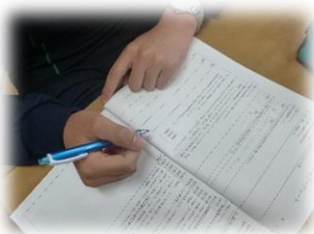
5月14日(火) 6限目

Ⅰ Ganko Thanq Project 発足



本年度、生徒有志によるプロジェクトチーム(Ganko Thanq Project:通称GTP)を立ち上げました。募集・選考の末、10名の2年生を選出しました。GTPメンバーは職員と同等の立場で、一年間の「探究の時間」のコーディネートや時期ごとのイベントの企画・運営等を主体的・協働的に行っていきます。

5/9(木)には、阿部県知事を本校にお招きし、『将来の長野県、未来の佐久市』についての「対話の場」を企画・運営しました。受け身姿勢からの脱却、そして生徒と職員で共に創り上げる「着地しない探究活動」を、本校ではこれから目指していきます。



Ⅰ 1年生 探究心「10の力」かく力(第1回)

書くために必要な「考える」基礎をワークを通して練習しました。また、目的および対象(読み手)を意識しての文章設計図の作成、条件に沿っての文章化を行いました。最後に「私の好きなもの」の題で400字程度の文章を清書するための下準備を行いました。

Ⅱ 2年生 Lesson02.主張には根拠を

主張したり意見を述べる際には、必ず「根拠」を伝えることが重要であることをペアワークとグループワークを通して学びました。また、グループメンバーから説得力のある説明が出来ていたかどうか評価のフィードバックを受けることで、自身の判断と説明の内容を磨きました。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1学年:探究心「10の力」
かく力第2回

■ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson03. 論理的なおかしさを見抜く

5月21日(火) 6限目

■ 学修記録・ポートフォリオの活用

授業終了後、生徒はスマートフォンなどを利用してClassiアンケートに回答しています。「主体性」「多様性」「協働性」の自己評価とともに、「内容の振り返り」「内容の自分ごと化」「授業前後の変化と今後の展望」等を入力します。本講座のデータは、職員が学期末にレビューシートにまとめて生徒に還元します。また、ポートフォリオを含めたクラウド上のデータは「岩高学びの報告書」の作成にも利用し、報告書や添付資料にまとめて年度末のセルフプロデュース面談に臨みます。3年次には、岩高三年間の学びの全てを統合し、調査書や活動報告書、推薦書等に活用する予定です。また、進学後も引き続き学修記録として活用する大学も今後増えていくようです。

Classi



■ 1年生 探究心「10の力」かく力(第2回)

下書きをもとに、『私の好きなもの』についての文章を清書しました。その後、グループ内でそれぞれの文章を回し読み、「要点」や「良かった点」、「もっと知りたかったこと」などを、執筆者のテキストに記入してお互いにエールを贈り合いました。執筆者は返却されたテキストのコメントを確認して、「書く目的」に沿った文章であったかどうかをもう一度見直しました。

■ 2年生 Lesson03.論理的なおかしさを見抜く

説得力をもって伝えるためには、論理的なおかしさをなくすることが重要です。そのため、論理的なおかしさを見直す意識を高めるトレーニングを行いました。「論点がズレている」「因果関係が成り立っていない」など、日常会話からディベートまでさまざまなシチュエーションの例題に沿って、ペアまたは個人ワークで演習しました。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1学年:探究心「10の力」
読解力第1回

■ 2学年:学年集会
研究グループ発表・打合せ

5月28日(火) 6限目

■ 授業準備と打合せ

毎週(火)の「探究の時間」に臨むために、前日の放課後、学年会にて職員打合せを行っています。タイムスケジュールや発問内容、投影するスライドなどを確認し、最後に授業担当者を決定します。岩高探究の生命線は、毎週の打合せにあると言っても過言ではありません。大人が自分ごととして捉え、主体的に行動してくれる限り『G(岩高)型探究』は進化し続けることでしょう。なお今回、1年生の授業を教育実習生が担当し、職員および2年生のGTPメンバーがTT(Team Teaching)としてサポートしました。



■ 1年生 探究心「10の力」読解力(第1回)

澤文也氏著『佐久の軟水と硬水』(約4000字)を読んで軟水と硬水についての情報をまとめ、グループ内で項目ごとに軟水と硬水の特徴を比較しました。感性を磨くための読解として、2色のペンや付箋を使って比較の一助にする生徒も見られました。また、今回はくじ引きによる学年内シャッフルの形態で授業を展開しました。



■ 2年生 研究グループ発表・打ち合わせ(学年集会)

「自分軸」「社会」「学習」「自身の将来」「学びのテーマ」を満たす内容で各自が設定した問題または課題をもとにして3名のグループを構成しました。本日はそのグループメンバーの発表と今後の進め方についての確認を行いました。その後の打ち合わせにて、「研究テーマ」「SDGs(持続可能な開発目標)」「各自の役割」「今後のスケジュール」をすり合わせました。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1学年:探究心「10の力」
読解力第2回

Ⅱ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson04. 説得力のある伝え方を実践する

6月4日(火) 6限目

Ⅰ 授業形態および構成員編成の仕掛け

個人、ペア、トリオ、小グループ(4～6名)、大グループ(クラス規模)など、人数の規模を変えながらワークを行うことで理解を深めるとともに、効果的に主体性・多様性・協働性の意識付けができます。併せて2人以上の人数の場合、構成員を毎時間クラス内で変えることで刺激はさらに強くなります。加えて本校では、学年内シャッフルの授業を定期的の実施しており、授業当日のSHRでカードを引き、番号で指定された教室の椅子に着席する方法を採用しています。今後、対話力(ディスカッション)の授業では、1～2学年縦断シャッフルも実施する予定です。



Ⅰ 1年生 探究心「10の力」読解力(第2回)

各グループの代表者が自宅から水道水を持ち寄って飲み比べを行いました。試飲した水を「軟水」と「硬水」に分類し、「文章から得た情報」と「実際に体験した感覚」を比較しました。また、試飲した後に、目的に沿った読み取りができていたかの確認を行い、不足していた点や改善点を洗い出しました。飲み比べた情報は『佐久の軟水と硬水マップ』に学年内で統合しました。

Ⅱ 2年生 Lesson04.説得力のある伝え方を実践する

Lesson.01～03の学びを振り返りながら、「説得力のある意見の伝え方」のまとめを行いました。伝え方の実践として『高校でチャイムを鳴らすべきか』のテーマでミニディベートを行いました。「賛成」「反対」「審判」の3役を経験することで、自身の主張に説得力があったかどうかを見直す事ができ、中には初めに考えた意見から変化が見られた生徒も見受けられました。なお、本時はくじ引きによる学年内シャッフルの形態で授業を展開しました。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1学年:探究心「10の力」
協働作業力

■ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson05. 情報を構造化する

6月18日(火) 6限目

■ 開(ひら)かれた学校が、生徒の知を拓(ひら)かせる

タ刻に開かれた学校評議員会に先立って、評議員の方に授業を参観していただきました。昨年度導入した『電子黒板』等の機器や、『答えを求めない』授業展開に新鮮さを覚えた」とのコメントをいただきました。昨年度は県内外から数校が視察にいらっしゃいましたが、本年度こそ多くの方に参観・参加していただき、生徒・職員の熱量を体感していただければ幸いです。岩村田高校は、内容や具体的な運用方法、抱える問題や課題等、隠すことなくオープンスタンスでお待ちしております。教頭(志津)までお気軽にお問い合わせください。(教務室直通 0267-67-2440)



■ 1年生 探究心「10の力」協働作業力

『鞆』安部公房著を題材に、「答えのない問い」に取り組みました。1.個人活動～2.エキスパート活動～3.ジグソー活動～4.クロストーク～5.個人活動の課程を通して、協働作業の必要性和有用性を体感しました。また、1.と5.を比較することで、個人の「考え方の変化」や「新たな気付き」を発見できた生徒もいました。本授業の見学を通して、「知識構成型ジグソー法」は、主体性・多様性・協働性を大いに刺激できる仕掛けの一つであることを再認識させられました。

■ 2年生 Lesson05.情報を構造化する

伝えたい情報が複雑になればなるほど、情報を構造化してから伝える必要性が出てきます。本時では、今まで学んできた「説得力のある伝え方」を効果的に活かすため、適切な「切り口」を設定して、モレやダブりのない「構造化」のトレーニングを行いました。具体的には、文化祭アンケートを取りまとめて情報を構造化することで、改善策等を洗い出してまとめ、クラスメイトに向けて具体的な改善点等を15秒スピーチで発表しました。



2019年度
「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1学年:探究心「10の力」
対話(ディスカッション)力第1回

Ⅱ 2学年:学年集会

ゼミ主任発表・研究グループ打合せ

7月9日(火) 6限目

Ⅰ GTP(2年生有志)による授業進行

本日の1年生の授業はGTP(Ganko Thanq Project)10名が進行しました。昼休みのランチミーティングでの打ち合わせ、前日の放課後には1~2学年の先生方の前で翌日の授業の説明を行うなどの準備をして本番に臨みました。本日はさらに河合塾の教育広報部の方々が来校し、授業見学後にGTPメンバーへの取材もしていただきました。生徒と職員が協働的に創り上げる「G型探究」を全国にPRできる良い機会となりました。当日の授業の様子とインタビュー内容は、『Guideline10月号』河合塾全国進学情報センター発行に掲載される予定です。

Ⅰ 1年生 探究心「10の力」対話(ディスカッション)力(第1回)

分かりやすく相手に伝える方法を体感するために、言葉(言語的コミュニケーション)と態度(非言語的コミュニケーション)のどちらかを欠いた条件で「感情」を伝えるゲームを行いました。また、聴き手の態度によって、伝える内容や方法にどのような変化が生じるのかを確認するためのアクティビティーも行いました。なお、本時はくじ引きによる学年内シャッフルの形態で授業を展開しました。

Ⅱ 2年生 ゼミ主任発表・研究グループ打ち合わせ

本年度は、計65の研究グループを総勢22名の職員がゼミ主任として、各グループの研究をコーディネートしていきます。本時は、ゼミ主任との顔合わせ、グループリーダーの選出、研究テーマ・SDGsの再確認、研究計画の統合、そして11月から研究に参入する1年生に向けての募集広告作成についての打ち合わせ等を行いました。

2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

- 1学年:探究心「10の力」対話(ディスカッション)力第2回
- 2学年:探究心「10の力」対話(ディスカッション)力
(1～2学年合同)

7月16日(火) 6限目

■ 授業形態および構成員編成の仕掛け(2)

本日の授業の進行は、GTPメンバーのK君による一斉放送にて行いました。また、本日は1～2学年縦断型シャッフルによるグループ編成を行い、4名グループ(2名:2年生、2名:1年生)となるよう工夫しました。各教室には、担任・副担任・GTPメンバーをTTとして配置し、グループディスカッションのサポートをお願いしました。夏季休業前最後の「探究の時間」であった本時は、後期から予定している1～2年生合同協働研究の布石でもありました。学年の枠を超えて交流できる仕掛けをつくることで、学年の枠を越えた協働作業の楽しさと大切さを実感でき、先輩から後輩へ思いや研究内容を引き継ぐという「チーム岩高」としての探究活動の意識付けができればと考えております。



■ 1年生 探究心「10の力」対話(ディスカッション)力(第2回)

■ 2年生 探究心「10の力」対話(ディスカッション)力

グループ内での自己紹介後、以下の2テーマについてグループワークを行いました。

- I. 生徒手帳の服装規定(制服自由化の歴史と生徒会・職員会の申し合わせ事項)を参照しながら、制服の「必要」「不必要」それぞれの立場で計2回のディベート。
テーマ『多くの生徒がジャージを着用している現状を踏まえて、現在の岩高に制服は必要か?』
- II. Benesseが発行するニュースピックアップからテーマを一つ選び、資料を読解・内容を整理後、問いに対しての最適解を話し合いによって見出して、一つの結論を出す。
 - 福祉 『介護中の死亡事故、准看護師に有罪判決』(出典 2019年5月号)
 - 政・経 『WTO、韓国による水産物輸入規制容認』(出典 2019年6月号)
 - 政・経 『コンビニの24時間営業見直しに向けた検証開始』(出典 2019年5月号)
 - 環境 『汚れたプラスチックごみ、輸出入規制対象に』(出典 2019年7月号)



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1学年:探究心「10の力」
課題発見力

■ 2学年:学年集会

ゼミ主任発表・研究グループ打合せ

8月27日(火) 6限目

■ 中学生体験入学

7月27日(土)、中学生体験入学において『探究の時間』講座を開講しました。内容はGTPメンバーが選んだ「対話力」。アクティビティー用のグループ、ペア共に同じ中学の生徒が入らないように座席を工夫しました。約40名の中学生を2講座に分け、それぞれの講座での授業進行をGTPが行い、ワークにも他のGTPが参加しました。引率の保護者の方々にもアクティビティーに参加していただき、大いに盛り上がりました。

『SOARER:着地しない探究心』をもった新入生と来年度以降、共に活動できることを心待ちにしています。



■ 1年生 探究心「10の力」課題発見力

課題発見のためのスタートアップとして、マインドマップの作製による『自分軸』の洗い出しをブレインストーミングしました。その結果と内容をグループ内の友人に説明し、聴衆はその内容を短時間で説明するという要約のトレーニングも仕掛けとして取り入れました。最後にR80を用いて『自分軸』の題で、二文で80文字、「なぜならば」の接続詞を使用して文章でまとめました。今後1年生は、各自の自分軸をベースに興味・関心に合ったグループ研究に参加する予定です。

■ 2年生 ゼミ内研究グループ打ち合わせ

各ゼミ内で、本日までの研究の進捗状況を確認し、今後の研究の進め方を再確認・共有しました。また、夏季休業中に作製した1年生向けの「研究グループ募集広告」を提出しました。今後、1年生は廊下に掲示された募集広告を見て、どの研究グループで活動したいかを決めます。先輩に直接話を聴きに行くなどの主体的行動も期待しています。



2019年度
「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1学年:探究心「10の力」
情報収集力第1回

■ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson06. アウトラインを考える

9月3日(火) 6限目

■ 他校発表会、各種セミナーへの参加

8月24日(土)の午前、屋代高校ポスターセッションにGTPの代表者が参加しました。GTPの取り組みや授業の様子をポスター2枚にまとめて、15分のセッションを2回行いました。屋代高生のレベルの高い研究内容や発表、運営方法に大いに刺激を受けた貴重な経験になりました。



同日午後には、長野市JAビルにて「長野県高校生『私のプロジェクト』発表大会」スタートアッププログラムに参加しました。大学生等のサポートスタッフがファシリテーターとして、プロジェクトの掘り下げをサポートしてくれました。12月に塩尻市で行われる長野県大会の発表会が今から楽しみです。



■ 1年生 探究心「10の力」情報収集力(第1回)

研究内容やSDGsを設定する以前に、不足している知識を補充するために情報を収集する必要があります。数ある情報の収集方法の中でも本時はアンケートに焦点を当て、アンケートの利点と実施する際の注意点を確認した後、自身が知りたい情報を引き出すためのアンケートを作成しました。今後、グループごとの計画に沿ってアンケートを実施する予定です。

■ 2年生 Lesson06.アウトラインを考える

Lesson06.では、情報を構造化する考え方の応用として、主に文章を書くときに非常に便利な「アウトライン」の作り方を学びました。ミニレポートを作成するという想定で、複数のメモをもとに適切な「切り口」を設定して「構造化」し、「意味のある順序で並べて整理」して「見出し」をつけるという一連の課程を個人・ペアワークにより実践しました。なお、本講座は大学入試における小論文対策も視野に入れたものです。





2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1学年:探究心「10の力」
情報収集力第2回

Ⅱ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson07. かたよった情報に気を付ける

9月17日(火) 6限目

Ⅰ『SOARER』着地しない探究活動を目指して

10感・ギモンは学び続けるためのエネルギー。だから…安易に答えを求めてはいけません。そして…考えることを止めてはいけません。生涯学び続け、答えのない問に挑戦する姿勢を身につけるための岩高オリジナルカリキュラムです。

以上は、学校説明ポスター、グランドデザインや中学校説明会等で使用しているG型探究の説明文です。右図は、そのイメージイラストです。

岩高では「激動の時代」を生き抜く力を育成します

Gstyle SOARER 着地しない探究活動

10感・ギモンは学び続けるためのエネルギー。だから…安易に答えを求めてはいけません。そして…考えることを止めてはいけません。生涯学び続け、答えのない問に挑戦する姿勢を身につけるための岩高オリジナルカリキュラムです。

思考力 判断力 表現力

主体性 多様性 協働性

問題解決力 課題発見力 プレゼン力

前期:基礎力養成講座
1年生「探究心・10の力」(本校オリジナル)
2年生「一生使える探究のコツ」(横)社/社
(2019年協賛校契約)

後期:グループ研究(2年チューター制採用)
探究活動成果発表会(2020.2.1予定)
岩高の報告書(Classi利用)

毎週(火)6限目実施(1～2年間同時展開)

基礎学力・技能

Ⅰ 1年生 探究心「10の力」情報収集力(第2回)

実際に行ったアンケートを集計して、円グラフにまとめました。グループ内で集計結果からの考察や、アンケート実施上の注意点の確認をしました。最後に各グループ1分で、書画カメラ等を用いてそれらを発表して、クラス内で情報を共有しました。



Ⅱ 2年生 Lesson07.かたよった情報に気を付ける

Lesson01～06.で「情報を構造化し、説得力のある伝え方」をするためのポイントを学習しました。本時は、その伝えたい情報自体が偏っていたり、誤っていることの危険性と注意すべきポイントを学びました。操作された一面的な情報や全くのウソ(フェイクニュース)を見抜くためのポイントを新聞記事をもとに個人ワークで確認しました。各設問の最後には、代表者が30秒で自身の意見や考えを発表して、クラス内でクロストークを実施しました。





2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

- 1学年:探究心「10の力」
情報整理力
- 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson08.さまざまな視点から考える

■ レビューシートによるメタ認知の補助・情報整理

前期終業式をむかえ、通知表とともに「レビューシート」を配布します。
レビューシートとは、毎講座後にClassiアンケートで回答した自己評価、および『要約』『新たな気付き』『今後の展望』『感想』等を1枚にまとめたものです。生徒一人一人が「自身の理解についての理解」を深めることができるとともに、職員が生徒を多面的に捉える一助にもなると考えています。三年次に必要な調査書や上級学校等に提出する書類まで見越して、情報を適切に管理・整理していくことが、今後一層求められています。

探究の時間 前期レビューシート		探究の時間 前期レビューシート	探究の時間 前期レビューシート
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100



■ 1年生 探究心「10の力」情報整理力

情報や物質管理の原則を学び、自身にあった管理法や実現可能な管理法を挙げて、管理の重要性和有効性を学びました。また、文献やWEBから得られた情報の管理法も学びました。情報整理では、シンキングツールの一つである「質問・疑問マトリクス」を用いて、それぞれが興味がある分野やワードに関する疑問をできるだけ挙げて、問題・課題設定の一助としました。

■ 2年生 Lesson08.さまざまな視点から考える

さまざまな立場や状況から「多面的」に考えることの重要性を学ぶために、コーヒーにまつわる関係者の立場になって会議に参加するというシチュエーションでワークを行いました。それぞれ立場の資料を読み、付箋を使ったブレインストーミングによってグループ内で、現在のコーヒーの生産量と将来の予測についての情報を共有しました。最後に『より幸せになるアイデア』をそれぞれの立場・視点で出し、グループ内で最適解をつくりました。



2019年度
「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

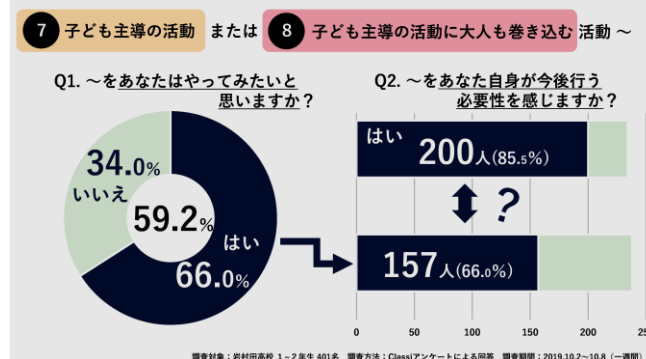
岩高探究の時間

Ⅰ 1学年:探究心「10の力」
データ分析力第1回

Ⅱ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson09. 仮説を立てる

Ⅰ 主体性に関する岩高生の意識とは

岩高1～2年生(400名)を対象に、「主体的な活動」に関するアンケートを実施しました。GTPが各クラスにて、ロジャー・ハートの「子どもたちの参画のはしご」の説明と趣旨を伝え、Classiアンケートにて配信後、回答・集計を行いました。回答率が59.2%とやや低いものの、『子ども主体の活動』に関して回答者の66.0%がやりたいと意欲的な回答であり、『自身の将来での必要性』の設問からは85.5%が必要性を感じていることが分かりました。理由の記述内容も踏まえて今後、GTPが全校生徒や職員に対してどのような提言をしてくれるのか楽しみです。



Ⅰ 1年生 探究心「10の力」データ分析力(第1回)

PPDACメソッドの活用を、グループワークを通して学びました。月別国内旅行者数のデータをもとに、国内旅行者が8月に多い理由と旅行先についての問題提起(P)をし、国内6都市の8月の最高気温のデータ(D)から五数要約を用いて、各都市の箱ひげ図を作成し、データを分析するための加工を行いました。それをもとに、避暑地についての分析・考察(A)を行い、提起した問題に関する結論(C)を出しました。

Ⅱ 2年生 Lesson09. 仮説を立てる

事実をもとに仮説を立てる練習をグループワークを通して行いました。日本のカボチャの輸入先がある2カ国にかたよっていることについて、原因を推察して仮説を立てました。また複数の追加情報をグループ内で共有して仮説の再構築を行いました。それぞれのワークの最後には、立てた仮説を各グループ30秒で発表して、情報をクラス内で共有しました。



2019年度
「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1学年:探究心「10の力」
データ分析力第2回

■ 2学年:探究のコツ
「思考の手引き～整理・分析編～」
Lesson10. 効果的に仮説検証する

10月29日(火) 6限目

■ 高校生主催のプレゼンテーション大会

10月20日(日)、塩尻市で開催された第5回長野県高校生プレゼンテーション大会にて、GTPメンバーが発表する機会をいただきました。東京都市大学塩尻高等学校の高木実行委員長を中心に、企画運営を高校生が行う姿に感銘を受けました。また、大会の運営資金の20万円をクラウドファンディングで集めたというからさらに驚きです。GTPは『高校生の主体性に関する実践と課題』と題して、ロジャー・ハートの「参画のはしご」を基軸に、今までの活動を踏まえて、子どもの参画に関して、大人および高校生へ向けたそれぞれの提言を発表しました。



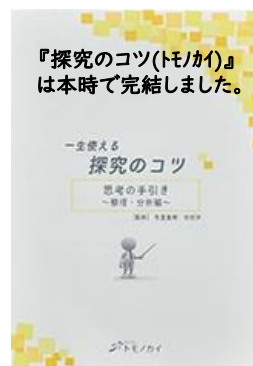
■ 1年生 探究心「10の力」データ分析力(第2回)

データを正しく解釈する技術として、因果関係と相関関係の違いを学びました。また、因果関係を確認するための3つのチェックポイントを使って、各例題の関係性を見抜くトレーニングを行いました。最後にオリジナルの例題を各自で作成し、ポートフォリオに入力しました。オリジナリティー溢れる作品は、来年度のテキストに掲載する予定です。

■ 2年生 Lesson10.効果的に仮説検証する

本時はこれまでの総まとめとして、仮説立案→情報収集→仮説検証(整理・分析)→アウトライン作成(まとめ・表現)というプロセスの実践が目的でした。本校では、2年生全員が短い時間の中で、設備が不十分(タブレットは40台、PCは41台)な状況での情報収集は難しいと判断し、仮説を検証するために有効な情報を集める方法を検討するまでにとどめました。その先の実践は、次週からスタートする1～2年合同で行うグループ研究に持ち越す形となりました。

『探究のコツ(トモカイ)』
は本時で完結しました。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1～2 学年合同

ゼミ紹介・研究打ち合せ
(65グループ / 22ゼミ)

11月5日(火) 6限目

Ⅱ 佐久市議会との協働説明会

本日、佐久市議会総務文教委員の方々をお招きし、市議と岩高生の協働の可能性についての説明会を開催しました。高校生目線の意見を市政に活かすことを目的に、12月の意見交換会を提案していただくとともに、佐久広報誌への掲載や市議会でのプレゼンテーションの機会も提示していただきました。説明会には6組のグループが参加し、研究テーマに沿った市議との協働の可能性を探りました。佐久に関する「健康」「環境」「雇用」「税」「観光」等、高校生の若さと市議の豊かな経験とのコラボレーションがどのようなイノベーションを生むのか楽しみです。



Ⅲ 1～2年生合同 ゼミ紹介・研究打ち合せ

本日よりグループ研究が本格的に始動しました。初めて2年生と1年生のメンバーが顔を合わせ、研究内容の情報共有、今後の日程確認および調整、それぞれの役割の分担の擦り合わせ等を行いました。

昨年度は個人研究でしたが、本年度からはグループ研究を導入しました。2年生3名、1年生2～3名で構成されるグループが計65グループ、3～4つのグループに1人の職員がゼミ主任としてついて、2月に行われる探究成果発表会に向けて研究を進めていきます。職員はファシリテーターとして担当するグループの活動をサポート。2年生はチューターとしてリーダーシップを発揮して1年生を牽引。個々は主体的に自身の仕事を責任をもって遂行する。これらによりチームとしての真の協働が生まれると信じています。G型探究の目的の一つである『相互扶助の学び』をグループ研究を通して、これから実践していきます。



写真は昨年度の探究成果発表会のものです。



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

Ⅰ 1～2 学年合同

ゼミ内グループ研究 ①
(65グループ / 22ゼミ)

Ⅰ 国際交流員と語る会

11月8日(金)の放課後、国際交流員の呉錫英(オ・シギョン)さんをお招きして交流会を開催しました。有志生徒7名と進行役を務めたGTPはこの日のために、韓国の歴史と日本との関係を学習して準備をしてきました。当日は錫英さんのプレゼンで韓国について学んだり、その後文化や高校生活などについて意見交換をしました。日韓関係についての対話では、これからの両国の友好関係構築の可能性を探りました。



Ⅰ 1～2年生合同 ゼミ内グループ研究 ①

【研究グループ紹介 (No.0～10) ※今後、研究タイトルが変更されることもあります。】

- Ⅰ No.0 『Ganko Thanq Project』 目標4:教育 目標17:実施手段
- Ⅰ No.1 『世界の飢餓について』 目標1:貧困
- Ⅰ No.2 『世界の貧しい子供たちの笑顔を守るために。そして増やすために私たちができること 広められることは何だろう…Let's think??』 目標1:貧困 目標3:保健
- Ⅰ No.3 『貧しい子供のために出来ること』 目標2:飢餓
- Ⅰ No.4 『世界の飢餓を減らすために食品廃棄ロスから考えられること』 目標2:飢餓
- Ⅰ No.5 『世界の飢餓とその対策』 目標2:飢餓
- Ⅰ No.6 『佐久の長寿の秘訣』 目標3:保健
- Ⅰ No.7 『不治の病にかかる100%死に至るのか?』 目標3:保健
- Ⅰ No.8 『医療系のこれから』 目標3:保健
- Ⅰ No.9 『AIを含む医療機器』 目標3:保健
- Ⅰ No.10 『スポーツによる健康効果』 目標3:保健



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

1～2学年合同

ゼミ内グループ研究 ②
(65グループ / 22ゼミ)

1～2年生合同 ゼミ内グループ研究 ②

【研究グループ紹介 (No.11～31) ※今後、研究タイトルが変更されることもあります。】

- No.11 『健康に生きるには』 目標3:保健
- No.12 『環境と健康の関係性』 目標3:保健
- No.13 『朝方人間と夜型人間における、身体と頭脳の特徴』 目標3:保健
- No.14 『高齢者の交通事故を減らすには』
目標3:保健 目標9:インフラ、産業化、イノベーション 目標11:持続可能な都市
- No.15 『長寿について』 目標3:保健
- No.16 『野菜に含まれる苦味成分は肥満防止に役立つのか』 目標3:保健
- No.17 『感情が体におよぼす影響』 目標3:保健
- No.18 『動物の殺処分について』 目標10:不平等
- No.19 『日本人の英語力の向上』 目標4:教育
- No.20 『日本の教育』 目標4:教育
- No.21 『今後の教育方法と、勉強量の変化』 目標4:教育
- No.22 『AIに奪われる職業と奪われない職業の違い』 目標4:教育 目標8:経済成長と雇用
- No.23 『ゲームをやることのメリット・デメリット』 目標4:教育
- No.24 『ゲームに時間とお金を使うべきか』 目標17:実施手段
- No.25 『世界の教育の不平等とその解決法』 目標10:不平等
- No.26 『児童虐待の現状・原因・将来性』 目標10:不平等
- No.27 『保育園に子どもを全員入れるにはどうすればいいのか』 目標4:教育
- No.28 『ジェンダーへの考え方の違い』 目標5:ジェンダー
- No.29 『ジェンダーについて』 目標5:ジェンダー
- No.30 『男と女の定義』 目標5:ジェンダー
- No.31 『佐久・小諸の綺麗な水を100年先まで持続するには』 目標6:水・衛生



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	



2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

■ 1～2 学年合同

ゼミ内グループ研究 ③
(65グループ / 22ゼミ)

■ 1～2年生合同 ゼミ内グループ研究 ③

【研究グループ紹介 (No.32～51) ※今後、研究タイトルが変更されることもあります。】

- No.32 『どうしたら佐久市の水が綺麗なままでいられるか』 目標6:水・衛生
- No.33 『生物にとって住みやすい環境とは』 目標6:水・衛生 目標13:気候変動 目標15 陸上資源
- No.34 『高齢者や障がい者が過ごしやすい街にするために』 目標3:保健
- No.35 『地球温暖化を防ぐために出来ること』 目標13:気候変動 目標17:実施手段
- No.36 『日焼けは本当に身体に悪いのか』 目標3:保健
- No.37 『AI化を進める事によって雇用問題はどうなっていくか』 目標8:経済成長と雇用
- No.38 『AIの進歩による雇用の変化』 目標8:経済成長と雇用
- No.39 『ロボットやAIが与える人への影響』 目標8:経済成長と雇用
- No.40 『AIと今後の職業』 目標8:経済成長と雇用
- No.41 『お金の循環と雇用の関係』
- No.42 『経済発展していく中で、私達に求められていることは何か。持続可能な経済成長のためには何が必要か。経済成長が止まってしまうとどうなるのか。』 目標8:経済成長と雇用
- No.43 『佐久に住む私たちが働きやすい職場とはどのようなものなのか』 目標8:経済成長と雇用
- No.44 『東京オリンピックの影響』 目標8:経済成長と雇用 目標11:持続可能な社会
- No.45 『情報機器の新たな可能性』 目標9:インフラ、産業化、イノベーション
- No.46 『佐久市を笑顔溢れる町にしよう!』 目標11:持続可能な都市
- No.47 『佐久市はディズニーランドのような明るい街にできるのか』 目標11:持続可能な都市
- No.48 『商店街を活性化させるために』 目標11:持続可能な都市
- No.49 『高校生が岩村田商店街でできることはあるのか』 目標11:持続可能な都市
- No.50 『環境の変化によって伴う自然災害による家の対策や空き家問題の解決策とは』 目標11:持続可能な都市 目標13:気候変動
- No.51 『国際平和を達成するにはどのようなことが必要か』 目標16:平和

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





2019年度

「変化の激しい世の中」を生き抜く力を養うために

岩高探究の時間

1～2 学年合同

ゼミ内グループ研究 ④
(65グループ / 22ゼミ)

生徒主体の探究成果発表会に向けて



12月3日(火)の昼休み。各ゼミのグループ長に集合してもらい、発表会までの日程や選考方法の確認、諸連絡をGTPが行いました。同日、各ゼミ主任にGTPが資料説明に伺いましたが、後日、説明の不備や不安の声を多くいただきてしまいました。回議ルートを徹底することの大切さを再確認し、改善に向けた提案スケジュールを共有しました。

1～2年生合同 ゼミ内グループ研究 ④

【研究グループ紹介(No.52～64) ※今後、研究タイトルが変更されることもあります。】

- No.52 『令和が平和であるために』 目標16:平和
- No.53 『憲法改正によって日本は平和になるのか』 目標16:平和
- No.54 『じゃんけんで揉め事がなくなるのか』 目標16:平和
- No.55 『川魚を守るために私たちができること』 目標14:海洋資源
- No.56 『外来種から救え世界を!』 目標15:陸上資源
- No.57 『グローバル化で私たちがすべきこと』 目標17:実施手段
- No.58 『最短で最高の勉強～勉強法を勉強する～』 目標17:実施手段
- No.59 『スポーツによる駆け引きの可能性』 目標17:実施手段
- No.60 『火の正体とは?』 目標7:エネルギー
- No.61 『感染症はどのように広がるのか。またその対策』 目標3:保健
- No.62 『この素晴らしい世界にアニクラを!』 目標17:実施手段
- No.63 『外見では伝わらないこと』 目標3:保健
- No.64 『佐久の特産品での町おこし』 目標12:持続可能な生産と消費



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	